

2016.9.13 08:54

【明美ちゃん基金】ミャンマーから医療団帰国

国内外の重い心臓病に苦しむ子供たちを救う「明美ちゃん基金」（産経新聞社提唱）によるミャンマーへの医療支援で、現地を訪れていた医師らが11日、帰国した。ミャンマーへの医療団派遣は3回目、今回は外科と内科の両チームで計34人の子供を治療した。

昨年9月の第1回に続いて外科チームに参加した千葉県こども病院の斎藤友宏医師（40）は、「ミャンマーでは、心臓病の治療に欠かせない内科と外科の連携が足りない。その重要性を理解してもらう必要があると改めて感じた」と指摘。「医療レベルの向上には時間がかかる。しっかり支援を継続していくことが大切だ」と述べた。

医療団は4日に現地へ到着し、NPO法人「ジャパンハート」のヤンゴン事務所と協力して活動。約1週間にわたり、ヤンゴンの国立ヤンキン子供病院で心臓病の子供を治療しながら、ミャンマーの医師らに医療技術を伝えた。



「明美ちゃん基金」への振り込みは、みずほ銀行東京中央支店（店番号110）普通口座567941「産経新聞社会部明美ちゃん基金」。郵送の場合は、現金書留で〒100-8077 産経新聞東京本社社会部「明美ちゃん基金」。